

農と食に力を！ 地域を元気に！

福嶋 和子

有限会社グッドライフプランニング 代表取締役



◆地域の宝を掘り起こそう

私はグッドライフプランニングという会社を営みながら、何がグッドライフに必要なものかを学習、探求する中で、毎日の食生活の源である「農」と「食」をグッドなものにすることで社会に少しでも貢献していきたいと考え、コーディネーターの仕事をお引き受けしました。

農業は土作りからと言いますが、化学肥料に頼らなくても自然界の有機物をうまく活用した土壌改良資材を開発したのに、それを実証する場やPRする方法が無くて困っている方に、関係する研究者や農家、流通業者等を紹介、マッチングに努めたり、さらに改良する必要などの産学連携をアドバイスしてきました。

また、地域の特産である野菜や果物の機能性に着目した活用、加工品生産の可能性などの示唆や関連する研究者、企業探しのお手伝いや、販売流通の改善、マーケティング戦略の構築、他地域・商品の事例紹介なども行っています。

外から見ると、農業が弱体化しているようなイメージがありますが、いざ入り込んでみると、生産環境の悪化とは言え、作物や動物はいきいきとしており、もっと輝いて欲しいと願っているように思います。地域にある資源・環境・人材をうまく循環して活用していくことが、6次産業化やその先にもっと付加価値の高い目標が見えてくるのではないのでしょうか。

最近相談する中では、消費価値の無い葉や茎などの有効成分や屑物の再利用など、ゼロからの付加価値づくりに芽を向けることもあります。

産学連携を進める中で、もっと地域の宝を掘り起こしましょう。

◆目線を上げてみよう

私は日頃、輸出入の仕事にも携わっています。国や宗教によって食習慣の違い、食品等の安全規準の違いを感じることも多いのですが、基本は人間の生命や健康に良い食生活だと思います。

よく、これはA国で売れるか、逆に日本で売れるかとかの相談を受けますが、見た目だけでなく、製造過程やその人の信頼性を私なりに慎重によく検討してお答えすることにしています。お互いに相手国の事情を熟知しながら、利益優先やだますことなく、安価で良いものを認め合い提供しあうことが大切です。

その上で、日本産ブランドや相手国産ブランドを融通しあってウイン、ウインで発展するよう私なりに心がけています。

ご自分（または企業）が研究してきたことが一番のような売り込みをされる方がいますが、目をあげると同類のものが世の中に出回っている場合も多く、そのことを見ず、比較検討もされていない場合が多々あります。商品としての勝てる「売り」をしっかり把握したうえで、大企業のような高額な広告費用もかけないでも普及、流通できる手法を考えましょう。

◆コーディネーターは思いやり

「コーディネーター」という肩書きは堅苦しいですね。研究者と消費者との間を取り持つ気軽な相談相手と考えてます。女性ならではの毎日の食事、掃除、洗濯、化粧など身近なことから気付く開発・改善・改良の芽を大学や企業に積極的に持ち込んでいくことも必要と心がけています。自給率が低い、しかし農業生産もなかなか上がらない状況ではありますが、それは生ものが中心の考え方であって、加工・抽出・混合などで付加価値を高め、カロリーを高める方向でもカバーできるのではないのでしょうか。

大学や企業、公設の研究機関などが個々に研究開発を進めているものを産学連携で役割分担と相乗効果を図り、スピードを速めて社会に普及させていくことが求められています。しかし、堅苦しいCDでなく、ある時は研究者目線で、ある時は消費者目線で相談相手となって、個々の立場での思いやりを柱としながら、お手伝いして参りたいと考えてます。

いまま具体的にある業者から果実の機能性成分の広範囲な活用方法について産学連携の研究開発の相談を受けており、農・医・薬の異業種間の協力を図るべく某大学との共同研究をマッチング中であり、他にも数件相談中であります。

氏名：福嶋 和子（ふくしま かずこ）

専門分野：流通戦略、マーケティング

所属・役職：有限会社グッドライフプランニング 代表取締役

略歴：微生物研究所、通信販売会社等を経て平成13年4月独立

メッセージ：

産学連携による新商品の開発や既存の商品を見直すことで新しい市場が創造されるものと考えています。日本国内はもとより世界のマーケットに向けた販路開拓を目指しています。今までにない事業展開を可能にします。